

具体項目		保健体育			
観点	発行者	東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
1 教育基本法の理念や第二期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長	(1) 教育目標の達成に資する内容として、構成要素となつていく「教育の目的」及び「人間像」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元において、「今日の学習」「やってみよう」「考えてみよう」「生かそう」を学習の流れに即して配置し、考える、話し合う、発表するなどの活動を通して、思考力、判断力、表現力等を育成するとともに、実践的な態度を養うことができるよう配慮されている。</li> <li>章末資料として、「胎児を育てる母体の神秘」や「先輩からのメッセージ」を掲載し、自他の生命尊重について考えを深め、命を大切にしたいやりの心などの実践を旨すよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の流れを「章全体の課題と学習内容の把握」「今日の学習課題」「考えよう」「本文」「学習を生かして」で構成することにより、習得した知識・技能等を活用する力が身に付くよう配慮されている。</li> <li>「トピックス」や章末資料において、学習に関連した情報を掲載している。そのなかには、国や社会の取組や問題、世界の状況などを取り上げ、社会の一員として考えを深めさせるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章において、「活用」「実習」「Challenge」を配置し、自分の考えや経験を発表させたり、自分の様子をチェックしたりすることで、自分の心と体の状態や生活の状況を振り返り、節度のある生活習慣を身に付けようとする実践的な態度を養うことができるよう配慮されている。</li> <li>「心身の機能の発達と心の健康」の「自己形成」において、「なぜ生きているんだろう」というタイトルのコラムでは、思春期の特徴や自己形成について記載されており、自分の成長を振り返り、思春期の過ごし方について考えを深めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章において、「章の扉」で学習の見通しをもたせ、各単元では、「ウォームアップ」「エクササイズ」「活用しよう」を学習の流れに即して配置し、考える、判断する、話し合う、調べる、表現するなどの活動を通して創造性に富み、心豊かでたくましく生きる実践的な態度を養うことができるよう配慮されている。</li> <li>「章の扉」において、受精後18週の胎児の写真を掲載し、「生殖機能の成熟」では、母親に大切に抱きか抱えられる赤ちゃんの写真を掲載し、人間の体について感動したり、不思議に感じたりしたことをまとめるなどして、生命を重んじる態度を養うことができるよう配慮されている。</li> </ul>
	(2) 郷土「長崎」の伝統文化や歴史を自然について理解を深める学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>「健康な生活と病気の予防」における「個人の健康を守る社会の取り組み」では、ヘルスプロモーションについて説明したり、「健康日本21」の目標や対策を調べる活動を設定することで、本県における健康保持・増進の取組との関連を図ることができる。</li> <li>体育編「国際的なスポーツ大会が果たす文化的な役割」において、スポーツ選手や関係団体が行っている国際親善活動を調べる際に、本県における地域振興と関連付けた学習を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の冒頭「考えてみよう」では、身の回りの変化や身近に起こった事象を取り上げることで、身近な疑問から学習に興味をもたせるよう配慮されているため、本県の健康の保持増進への取組や事象等を基にして授業の展開を図ることができる。</li> <li>「文化としてのスポーツの意義」における「メディアの発達と国際的なスポーツ大会」「人々を結びつけるスポーツの文化的なはたらき」では、国際的なスポーツ大会が国際親善や世界平和に果たす役割を学ぶとともに、本県における平和学習や地域振興と関連付けた学習を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「健康と環境」では、環境問題について大きく取り上げられており、時代とともに変化する環境問題が、自分の住む地域でも身近な問題であることや、自分たちができることについて紹介されており、本県の環境対策との関連を図ることができる。</li> <li>「けがの防止」において、「自然災害への備えと避難」では、身近に起こり得る自然災害についての対処法を学び、長崎県で過去に起きた大きな災害（大水害や火山噴火等）からどのような知識と備えが必要であるかについて考えさせ、本県における自然災害との関連を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「健康と環境」において、放射線と健康について調べたり、「傷害の防止」では、地域の安全マップづくりを取り上げたりしている。また、「もっと広げる深める」の「自然災害」において、雲仙普賢岳噴火時の火砕流の写真を火山噴火の資料として掲載したり、自然災害へ日頃からの備えを確認したりすることで、本県における環境・安全対策との関連を図ることができる。</li> <li>「国際的なスポーツ大会とその役割」では、コラムにおいてオリンピック休戦を学習したり、国際的なスポーツ大会を通して、諸外国の人との交流や相互理解を深める活動を考えたりすることで、本県における平和学習との関連を図ることができる。</li> </ul>

具体項目		保健体育			
観点	発行者	東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章末に、知識の習得状況を確認することのできる「確認の問題」を設定し、学習の振り返りを行わせることで、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されている。</li> <li>「他教科マーク」によって、他教科との関連を示したり、「リンクマーク」によって、教科書の他ページとの関連を示したりすることで、他教科の学習内容と関連させ、効果的に知識・技能を習得できるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要な言葉は、太文字で表記するとともに、章末の「学習のまとめ」において、「重要な言葉」として取りまとめ、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されている。</li> <li>関連する学習ページを「リンク」で示し、他章の学習と関連付けて関係資料を活用することができ、効果的に知識・技能を習得できるよう配慮されている。また、章末の資料に加え、ページ下の余白に「ミニ知識」として、学習に関連した情報を記載し、豊かな知識を身に付けられるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章末の「学習のまとめ」では、学習の振り返りを行わせることで、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう配慮されている。また、日常生活の中で、学んだことをどのように生かしていくかについても考えさせる内容があり、実践力を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>文中の語句や内容についての解説を同一ページ内に提示したり、関連する学習内容が記載されているページやURLを提示したりすることで、効果的に知識・技能を習得できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の冒頭にキーワードチェック項目が設けられ、各章末の「章のまとめ」では、「用語の確認」「基礎の完成」において、習得した知識や理論を確認し、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されている。</li> <li>用語解説を同一ページ内に提示し、「情報サブリ」で関連したミニ知識を入手したり、実習の方法や技術を理解し、実際に行ってみたりすることで、効果的に知識・技能を習得できるよう工夫されている。</li> </ul>
	(2) 考える力・判断力・表現力等課題を解決するために必要と思われる	<ul style="list-style-type: none"> <li>冒頭部の「保健体育の学習方法」において、ディスカッション、ブレインストーミング、課題学習、ロールプレイング等の学習方法を紹介し、学習の目的や内容に合わせて選択し実践させることで、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。</li> <li>「考えてみよう」では、知識を活用する学習活動を設定し、考える、話し合う、発表するなどの活動を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されている。また、各章末に「活用の問題」が設定され、身に付けた知識を活用して、思考力を深めるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な統計資料を効果的に用い、データを読み取ったり、比較したりするなどして、主体的に考えさせることができるよう工夫されている。</li> <li>「考えよう」では、資料や図を参考にしながら、既存の知識や経験を生かして考察したり、話し合い活動を行ったりすることで、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の冒頭には、「Question」として、単元に関連する問を投げかけており、課題意識をもって学習を進めるよう工夫されている。また、「活用」では、「自分も相手も気持ちがいい、上手な断り方を考えよう」など、学習したことを日常の生活場面に当てはめて考えさせ、直接教科書に書き込むスペースを設定することで、思考力、判断力、表現力等が高まるように工夫されている。</li> <li>各単元の「コラム」では、学習内容の理解を助ける興味深い話が紹介されており、学習内容と自らの体験や日常生活がどのように結びついているかについて意識させ、様々な場面での対処法を考えることを通して、思考力、判断力等が高まるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ウォームアップ」では経験や今ある知識を生かして取り組み、「エクササイズ」では、考え、調べ、話し合い、「活用しよう」では学習を通して身に付けた知識を活用するなど、生徒の積極的な活動を促し、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。</li> <li>「探究しようよ」では、各章の探究項目について、さらに深く考えたり、調べたり、話し合うなどの活動を通して、思考力、判断力、表現力等が高まるよう工夫されている。</li> </ul>

具体項目		保健体育			
発行者		東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
観点					
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長	(3) 主体的に学ぶよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭口絵「健康や安全を支える人」では、健康・スポーツにかかわる仕事に従事している人々の写真やメッセージを随所に掲載し、勤労を重んずる態度を養うとともに、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択するための機会となるよう工夫されている。</li> <li>各章の冒頭に、小学校と高等学校の学習内容を明記することで、学習の系統性が分かるよう配慮されており、小・中・高等学校を通じた学習の見通しをもって、主体的に学習が進められるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭口絵「生きがいのある豊かな未来へ」には、中学校保健体育の学習目標が一目で分かるように見開き2ページを使って示し、見通しをもって主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> <li>各章の初めのページには、学習内容と学習目標が図式化しており、生徒に学習の見通しをもたせることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭口絵「私たちの成長と運動やスポーツの広がり」には、これまでの運動経験が今後どのように生かされ、将来的にスポーツにどのようにかかわるかについて写真や著名人のスポーツライフを基に説明しており、保健体育学習への動機付けを図り、見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。</li> <li>各単元の「Challenge-チャレンジ-」では、学習した内容を振り返るだけでなく、家庭や地域における生活と関連した課題を設定し、調べ学習を行うことを通して、主体的な学習態度が養えるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の冒頭に「教科書の構成と学習の流れ」を掲載し、基本的な学び方を示すとともに、「プラス」「情報サブリ」「リンク」を設け、調べ学習や問題解決的な学習に主体的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>「章の扉」に、小学校と高等学校での学習内容を明記することで学習の系統性が分かるよう配慮されており、各章末には、「生活への活用」を設定し、自由に記述させることで、主体的に学習に取り組む態度が養えるよう配慮されている。</li> </ul>
	(4) 夫的個人生活における内容を科学的に思考し、理解できるような基礎工	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心身の機能の発達と心の健康」では、様々なイラストや資料を用いることで、からだの発育・発達に、思春期における心の健康づくりが非常に大きくかかわっていることを理解できるよう工夫されている。特に、「生殖機能の成熟」では、鮮明な挿絵に丁寧な説明文を加え、理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>「健康と環境」では、グラフや資料を多く取り入れることにより、統計に基づいた環境と健康のかかわりについて、科学的に思考を深められるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元、ワイドな見開き構成になっており、「心身の発達と心の健康」では、数多くの挿絵等を組み合わせ、視覚的にとらえさせるとともに、データをグラフ等で効果的に示すことで、科学的に思考し、理解できるよう工夫されている。</li> <li>「資料」や「トピックス」において、身近な生活・活動体験を取り上げ、日常生活と関連付けながら学習を深めることができるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心身の機能の発達と心の健康」では、一つ一つの図や挿絵を大きく鮮明に掲載するとともに、多くのデータをグラフを用いて効果的に示すことで、科学的に思考し、理解ができるよう工夫されている。</li> <li>「心身の機能の発達と心の健康」では、多くの統計資料を掲載している。また、心の健康についてストレスの対処方法として、誰かに相談することや具体的な相談機関のサイトを紹介するなど、各種情報が記載され、生徒のよりどころとなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元で学習目標を明示し、「心身の発達と心の健康」では、詳しい記述と適切に豊富な挿絵を掲載したり、コラムを設けたりすることで、科学的な認識を伴った理解ができるよう工夫されている。</li> <li>「健康な生活と病気の予防」では、中学生の運動習慣や朝食と体温の関係など健康と生活にかかわる数多くの統計資料が掲載され、体力の測定とその活用では体力測定の結果を健康保持に活用する例を示し、科学的に思考し理解できるよう工夫されている。</li> </ul>

具体項目		保健体育			
発行者		東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
観点	2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて確かな学力の育成を図る上での特長				
	(5) 生活習慣病に性に対処できるような工夫されているか。薬物乱用防止等の課題に	<ul style="list-style-type: none"> <li>「喫煙の害と健康」では、様々なデータや写真を示すことで、たばこに含まれる有害物質や喫煙が未成年者に及ぼす影響等について理解できるよう工夫されている。また、「薬物乱用の社会への影響」では、実際の覚醒剤乱用者の証言を掲載し、薬物乱用の防止に対する意識が高まるように配慮されている。</li> <li>「性感染症・エイズの予防」では、感染者数の推移をグラフで示したり、読み物「国際的なエイズの流行と対策」を掲載したりすることで、感染症やエイズ対策への意識が高まるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「薬物乱用と健康」では、具体的な影響を画像や資料を提示することで、心身への急性影響や依存性について理解できるよう工夫されている。また、トビックスでは、脱法ドラッグを取り上げている。</li> <li>「性感染症とその予防」「エイズとその予防」では、感染者数の推移をグラフで示したり、主な性感染症やHIVの感染経路などを挿絵を使って詳しく提示したりすることで、性感染症やエイズ予防について正しく理解できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生活習慣病とその予防」では、様々な生活習慣病を取り上げ、がんについては発症した食道の写真を掲載することで、生活習慣の予防に対する意識が高まるよう工夫されている。</li> <li>「薬物乱用と健康」では、実際の事例を基に、薬物を使用する危険性を掲載したり、社会的問題となっている「脱法ドラッグ」について大きく取り上げたりすることで、薬物の怖さを知り、薬物乱用防止に対する意識を高めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生活習慣病とその予防」では、生活習慣病の進行を図示し、生活チェックや生活習慣とがんとの関係を数多くのイラストを掲載して興味をもたせている。また、「喫煙と健康」「飲酒と健康」では統計資料を豊富に用いて解説することにより、適切に対処できるよう工夫されている。</li> <li>「薬物乱用と健康」「薬物乱用のきっかけ」では、様々な薬物の写真や豊富な資料を掲載している。また、「たばこ・酒・薬物に手を出さないために」のページを設けて、覚せい剤に手を出してしまった中学生の手記を基に心理状態を考えたり、誘われるときの言葉や断り方の実習を取り入れたりするなど、薬物乱用防止について意識を高め、適切に対処できるよう工夫されている。</li> </ul>
	(6) 保健・医療機関や医薬品の有効利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>「医薬品の利用」では、医薬品の種類を挿絵で分かりやすく示すとともに、副作用に対する注意を含めて、医薬品の使い方を細かい事例をあげて説明することで、医薬品の正しい利用方法を理解できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の保健・医療等について、「地域での保健・医療の取組」「医薬品の有効利用」などの項目を設け、それぞれ、挿絵や説明書の写真を添付して解説し、利用方法について正しく理解できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「医薬品の正しい使い方」では、薬の効果と副作用について「コラム」で示し、正しい方法で使用することの重要性が示されている。また、「Q &amp; A」では発展学習として、日常生活における薬についての様々な疑問等を掲載し、正しい使用方法についてより理解が深まるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「保健・医療機関の利用」と「医薬品の有効利用」の2単元で構成され、保健機関の役割や医療機関の利用の仕方等を細かく掲載するとともに、医薬品の使い方を箇条書きやグラフで示し、保健・医療機関や医薬品の有効利用について理解できるよう工夫されている。</li> </ul>

具体項目		保健体育			
発行者		東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
観点					
2 の学習指導要領上の目標や内容等を踏まえて確かな学力	(7) でき運動やスポーツの多様な個性を身に付けようとする意欲を養い、心身の発達に与える理解力	<ul style="list-style-type: none"> <li>「運動やスポーツへの多様なかわり方」では、運動会を例に運動へのかわり方を振り返らせるとともに、北海道マラソンを例にして、実際に運動する人・観戦する人・運営面で支える人・伴走する人など、多様なかわり方があることを分かりやすく示すなど工夫されている。</li> <li>「文化としてのスポーツの意義」において、スポーツ基本法の前文（一部）を取り上げたり、章末資料ではオリンピック・パラリンピックの写真を掲載することで、国や性別、障害の有無を超えた文化としてのスポーツの意義を理解できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全」では、学習内容に関連する写真・画像及び運動生理学等のデータを掲載することにより、理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>「文化としてのスポーツの意義」では、オリンピックやパラリンピックを取り上げ、平和の祭典とも呼ばれるこの大会の始まりや役割、オリンピックシンボルのもつ意味やメディアの役割などを詳しく説明することにより、文化としてのスポーツの意義を理解できるよう工夫されている。また、2020年の東京大会についても生徒の興味・関心を高めるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「運動やスポーツの体への効果」では、体力要素と、併せて体力を高める運動の例が挿絵付きで説明されており、体力の要素だけでなく、その要素を高めるためにはどのような運動があるのか分かりやすく説明されている。</li> <li>「運動やスポーツのかかわり方」では、東京マラソンを例に、具体的なスポーツへのかかわり方について示しており、スポーツへかかわることが身近なこととして理解できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「スポーツの効果と安全」では、学習内容に関連した読み物資料（コラム）を豊富に掲載したり、スポーツ活動の強さ・時間・頻度などの条件や安全面に関する配慮事項が分かりやすくまとめられている。また、スポーツ活動の日誌の例を提示することで、練習の自己管理に役立てることができるよう工夫されている。</li> <li>「文化としてのスポーツ」では、スポーツ基本法（前文）や様々な種目にそれぞれの立場で取り組む多くの写真や挿絵を掲載し、文化としてのスポーツの意義を理解できるよう工夫されている。</li> </ul>
3 「学習効果の特長」や「デザインの見やすさ」等の表紙・表現や	(1) 記述内容は、分かりやすく、質・量ともに豊かな	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育の学習方法に関する内容や、各章末の「確認の問題」「活用の問題」などの学習のまとめにおいて、分かりやすい記述内容となるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ページの余白や、章末の「学習のまとめ」において、言葉の補足説明を加え、生徒の理解を図るよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Topic-トピック-」では、今日的課題及び中学生の興味・関心を引くテーマに沿った発展的な学習として、分かりやすい記述内容となるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「章の扉」や本文、「もっと広げる深める」や章末の「探究しようよ」「章のまとめ」等において、分かりやすい記述内容となるよう配慮されている。</li> </ul>

具体項目		保健体育			
発行者		東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい
観点					
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ等、ユニバーサルデザインの特長	(2) 写真、挿絵、図表など、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭口絵には、スポーツの力やスポーツを支える人、キャリア教育、食育に関する写真を、巻末口絵には精密な人体イラストが掲載されている。</li> <li>保健編では、心肺蘇生法やAEDの使用法にかかわる写真をはじめ、挿絵、統計資料を豊富に掲載し、学習意欲と学習効果が高まるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭口絵にはオリンピックや世界大会をはじめ、著名選手の写真を掲載し生徒の興味関心を高め、巻末口絵には「わたしたちの体」を掲載し、理解を深める資料としている。進路関係と関連した資料も掲載されている。</li> <li>統計資料や挿絵が豊富に掲載されているとともに、巻頭口絵には、食育や進路関係と関連した資料も掲載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭口絵には、2020年に開催の東京オリンピックに向けて国際的なスポーツ大会で活躍する日本人選手や生涯スポーツへの道筋が分かる写真を、巻末口絵には、人体解剖図と各器官の名称・働きが掲載されている。</li> <li>体育編では、様々なスポーツで活躍する選手の写真や、運動・スポーツの効果や安全に関する挿絵を豊富に掲載することで、学習意欲と学習効果が高まるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭口絵に保健体育に関する博物館など・世界で活躍する人たち・本や中学校生活と食事に関するものを、章の扉では各章の内容を象徴する大きな写真と関連のある写真や人物像を、巻末の口絵として体の仕組みが掲載されている。</li> <li>保健編の「心身の機能の発達と心の健康」「健康と環境」で挿絵、「傷害の防止」で写真を豊富に掲載するとともに、心肺蘇生法やAEDを用いた手当てにかかわる写真や挿絵、日本人の死因の推移グラフなどを掲載している。また、「健康な生活と疾病の予防」では統計資料を豊富に掲載することで、学習意欲と学習効果が高まるよう配慮されている。</li> </ul>
	(3) レイアウトでは、適切に文字の大きさを配慮されているか。挿絵の活用、紙質、製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章が色分けされ、ページが開きやすくなっている。また、単元名や「今日の学習」「やってみよう」の各表示も色分けされ、見やすくなるよう工夫されている。また、各学年ごとに保健編・体育編の内容を配置することで、学年ごとの学習内容が明確になるよう工夫されている。</li> <li>B5サイズより大きめに作成しており、ワーク形式で教科書に直接書き込むことができるよう工夫されている。</li> <li>ユニバーサルデザインフォントや色覚特性に適應するデザインが採用され、読みやすいように配慮されている。また、ページ右下に聖火ランナーの挿絵を掲載し、東京オリンピックへの関心が高まるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>B5サイズより大きめに作成しており、ワイドな見開きで、文字間、行間もゆとりがある。</li> <li>キーワードの言葉を強調し、学習に役立つ統計資料や挿絵を大きく掲載し、色付けされている。</li> <li>体育編と保健編及び章ごとに色分けしてある。各ページの見出しなどの色を統一し、見やすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元名、見出しの部分が章ごとに色分けされている。また、本文を黄色の背景にしており、とても見やすく、余白スペースを十分に確保している。</li> <li>見出しの横に学習内容をイメージできる挿絵を掲載している。</li> <li>体育編と保健編及び章ごとに見出しやページ周りを色分けし、見やすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習の目標」の部分の色分けし、「ウォームアップ」と「活用しよう」を区切り、さらに本文を項目ごとに点線で区切り、見やすくなるよう配慮されている。</li> <li>章ごとにページ周辺や単元番号を色分けし、章のまとめや区切りが分かりやすくなっている。</li> <li>明るい白紙に、はっきりと大きな文字で広く表記し、挿絵や写真を必要に応じた掲載とすることで、見やすくなるよう配慮されている。</li> </ul>